

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
海南・紀の川・紀美野地域	海南市・紀の川市・紀美野町	H23～H27	H23～H27

1 目標の達成状況資料  
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (平成 20 年度)	目標 (割合※1) (平成 27 年度) A	実績 (割合※1) (平成 27 年度) B	実績B /目標A	
排出量	事業系 総排出量	9,260t	9,148t (-1.2%)	9,269t (100.0%)	101.3%
	1 事業所当たりの排出量	1.33t /事業所	1.32t (-0.8%)	1.30t (97.7%)	98.5%
	家庭系 総排出量	36,561t	35,101t (-4.0%)	33,558t (91.8%)	95.6%
	1 人当たりの排出量	237kg/人	233kg/人 (-1.7%)	231kg/人 (97.5%)	99.1%
合 計 事業系家庭系総排出量合計	45,821t	44,249t (-3.4%)	42,827t (93.5%)	96.8%	
再生利用量	直接資源化量	625t (1.4%)	0t (0.0%)	0t (0.0%)	0.0%
	総資源化量	6,305t (13.8%)	6,335t (14.3%)	6,878t (16.1%)	108.6%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	— MWh	7,300MWh	— MWh (実績なし)	
減量化量	中間処理による減量化量	32,761t (71.5%)	33,466t (75.6%)	31,694t (74.0%)	94.7%
最終処分量	埋立最終処分量	7,961t (17.4%)	5,808t (13.1%)	5,380t (12.6%)	92.6%

※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成 20 年度)	目 標 (平成 27 年度) A	実 績 (平成 27 年度) B	実績B /目標A	
総人口	137,472人	134,210人	127,581人	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口	2,474人	8,900人	5,123人	57.6%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	1.8%	6.6%	4.0%	60.6%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	912人	1,031人	964人	93.5%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0.7%	0.8%	0.8%	100.0%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	35,488人	46,293人	49,710人	107.4%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	25.8%	34.5%	39.0%	113.0%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	98,598人	77,986人	71,784人	92.0%

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	ごみ処理費用負担の検討	海南省 紀の川市 紀美野町	ごみ減量化・資源化目標の達成状況を踏まえ、適正な費用負担を求めるための調査を行います。	H23～H27	調査の結果を踏まえ、2市1町で統一した処理費用の負担を求めることになった。
	12	環境教育・啓発活動の充実	海南省 紀の川市 紀美野町	環境教育教材の充実・施設見学等によりごみの減量化、分別について更なる啓発を行います。	H23～H27	広域処理施設完成に伴い、施設見学用のDVDの作成や小学生等の受け入れを行い環境教育の充実を図った。
		市民団体等の活動支援と市民参加の組織づくり	海南省 紀の川市 紀美野町	ごみ問題に取り組む市民団体及びNPOなどの団体の活動を支援し、市民参加の組織づくりを進めます。	H23～H27	資源ごみの集団回収を実施する団体に補助金を交付し活動を支援しました。
	13	事業者に対する指導	海南省 紀の川市 紀美野町	事業用大規模建築物の所有者への減量・リサイクル計画書提出義務付け等により事業者への指導、働きかけを行うことで、再資源化の促進を図ります。	H23～H27	計画期間中の計画書提出実績はないが、引き続き事業者に対しては、再資源化の促進を図るよう取り組みます。
		ごみの分別品目の検討	海南省 紀の川市 紀美野町	家庭系ごみの減量化、資源化の観点から分別品目の細分化・拡大について検討します。	H23～H27	新たに小型家電の分別をおこなう資源化に取り組まされた。
		レジ袋・過剰包装削減への取組	海南省 紀の川市 紀美野町	有料化を見据えたレジ袋の削減のため事業者へ協力を呼び掛けます。簡易包装やマイバッグの持参の普及促進についても、事業者・市民・行政が一体となって取り組みます。	H23～H27	レジ袋削減のための取組については事業者に呼びかけを行っていますが、引き続き事業者・市民・行政が一体となって取組まされた。
処理体制の構築、変更に関するもの						

処理施設の整備に関するもの	1	マテリアルリサイクル推進施設（リサイクルセンター）の整備	紀の海広域施設組合		H24～H27	H28. 2末で施設整備が完了しH28. 3. 1から供用開始した。
	2	マテリアルリサイクル推進施設（ストックヤード）の整備	海南市		H27～H27	未整備。
	3	エネルギー回収推進施設（熱回収施設）の整備	紀の海広域施設組合		H24～H27	H28. 2末で施設整備が完了しH28. 3. 1から供用開始した。
	4	埋立処分場の整備	海南市		H28（第Ⅱ期計画）	H28整備予定。
	5	合併浄化槽整備	海南市 紀の川市 紀美野町		H23～H27	計画期間中、合併浄化槽を普及促進するために、設置者に補助金交付を行った。引き続き普及促進のために補助金交付事業を継続する。
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	ごみ処理施設整備事業（事業番号1,3）に係る造成設計等事業	紀の海広域施設組合	ごみ処理施設の整備に際し、測量調査、地質調査、造成設計を行う。	H23～H23	H23完了。
		ごみ処理施設整備事業（事業番号1,3）に係る環境影響調査事業	紀の海広域施設組合	ごみ処理施設の整備に際し、環境影響調査を行う。	H23～H24	H24完了。
		ごみ処理施設整備事業（事業番号1,3）に係る基本設計等事業	紀の海広域施設組合	ごみ処理施設の整備に際し、基本設計、発注仕様書作成等を行う。	H23～H24	H24完了。
	32	ごみ処理施設整備事業（事業番号2,5）に係る廃焼却炉事前調査・解体設計、及び	海南市	ごみ処理施設の整備に際し、廃焼却炉の事前調査、解体設計及び施設整備基本計画、発注仕様書作成等を行う。	H24～H24	H24完了。

		施設整備基本計画等事業				
	33	最終処分場整備事業（事業番号4）に係る測量・地質・環境影響調査事業	海南省	ごみ処理施設の整備に際し、測量・地質調査、環境影響調査を行う。	H24～H25	H25完了。
		最終処分場整備事業（事業番号4）に係る実施設計等事業	海南省	ごみ処理施設の整備に際し、工事実施設計を行う。	H27～H27	H27完了。
その他	41	不法投棄対策	紀の海広域施設組合	不法投棄防止のための監視強化を実施する。	H23～H27	H28.3広域施設の供用開始に伴い、場内に監視カメラ等を設置して監視を強化した。
	43	災害時の廃棄物処理に関する事項	紀の海広域施設組合	周辺地域の自治体との連携体制の構築を図り、円滑かつ適正に処理できる体制の整備を強化していく。	H23～H27	未整備。

### 3 目標の達成状況に関する評価

全般的に、上記の各施策の実施状況のとおり概ね計画に沿って事業を達成することができた。  
 施策種別ごとの状況については、以下のとおり。  
 「処理施設の整備に関するもの」については、重点課題であった広域処理施設については、H28.2末で事業が完了し、平成28年3月1日から供用開始している。ただし、海南省がH27に整備を予定していた事業番号2 マテリアルリサイクル推進施設（ストックヤード）の整備については、未整備であるために、今後、第Ⅱ期計画（計画期間H28～H32）の整備期間中に整備を行うこととする。  
 「その他」の災害時の廃棄物災害廃棄物処理に関する事項については、計画期間中は、施設整備を優先的に行ったために、処理体制の整備には至っていないが、今後、周辺自治体との連携体制の構築を図るように取り組む。

(都道府県知事の所見)

**【ごみ処理】**

〈処理施設整備〉

海南・紀の川・紀美野地域では、平成22年度から5年間の重点的な取組みとして、平成22年4月に2市1町による紀の海広域施設組合を立ち上げ、熱回収施設（ごみ焼却施設）とマテリアルリサイクル推進施設（リサイクルセンター）を整備、平成28年3月から供用を開始した。熱回収施設が整備されたことにより、高効率な熱回収（発電）による熱エネルギーの有効利用が行えるようになり、マテリアルリサイクル施設の運用により、今後更なる廃棄物の再資源化の推進が見込まれる。また、分別区分や処理方法の統一化など広域化による効率的な処理に取り組んでいる。

〈各指標に係る達成状況〉

排出量について、事業系総排出量が目標値に達していないが、家庭系総排出量が大幅に抑制されたことから総排出量は目標を達成した。

事業系、家庭系ともに単位あたりの排出量が目標を達成していることについては、発生抑制施策の成果と認められる。

中間処理による減量化量は、目標値を下回ったが、再生利用量が増加したため総資源化量は目標を達成し、結果として最終処分量は目標（目標値の92.5%）を達成した。

今後も引き続き循環型社会形成に向けた取り組みを進めていただきたい。

〈災害廃棄物処理計画〉

災害時の廃棄物処理について、具体的な処理体制を早急に検討されたい。

**【生活排水処理】**

海南・紀の川・紀美野地域において、公共下水道及び集落排水施設の整備を踏まえながら、未整備区域において効率的な合併浄化槽の普及促進に取り組んでいる。

公共下水道の汚水衛生処理人口及び汚水衛生処理率の実績が、目標値に達していないが、集落排水施設と合併処理浄化槽については、集落排水施設の汚水衛生処理人口を除き目標値を達成している。

地域の総人口の減少を踏まえ、総人口に占める汚水衛生処理人口の率の実績値は、目標値41.9%を上回る43.7%に達していることから、全体として目標を達成している。

今後も、関係機関が連携し、広報の取組みなど、生活排水施策の推進を図っていただきたい。